

令和7年3月21日（金）

修了式 校長の話

先ほど、1年生から5年生の代表の人に、修了証を渡しました。修了証とは、それぞれの学年で学ぶことがすべて終わったと証明するものです。みなさん、この1年間、土崎小学校で大変よく頑張りましたね。

今、発表してくれた「ゆうみさん」と「らいさん」も、この1年間ががんばったこと、できるようになったことがたくさんありましたね。2人とも、とてもよい発表だったと思います。

みなさん、この1年間の、自分のがんばりに自信をもって次の学年に進んでください。

さて、校長先生は、この1年間、みなさんに3つの大事にしてほしいことを、繰り返し話してきました。それは・・・

「ニッコリ笑顔」「元気なあいさつ」「きれいな歌声」でした。これからみんなで、「笑顔・あいさつ・歌声」を大事にしていてほしいと思います。

令和6年度の1年間は、創立150周年をお祝いする行事をたくさん行ってきましたが、4月から始まる令和7年度は、土崎南小学校との統合を前にして、この校舎で過ごす最後の1年間となります。これからの1年間で、大切な思い出としてたくさんの人たちの心に残るよう、全校のみなさんで力を合わせてがんばりましょう。

最後に、

みなさんは明日から春休みに入りますが、これからの16日間は、次の学年に進むための大切な準備期間です。学習用具や自分の身の回りを整理・整頓して、4月から、この校舎最後の年を気持ちよく迎えられようようにしましょう。

また、春休みは、事故や事件が多く起きる時期です。「春休みのくらし」に書かれていることをしっかりと守って安全に過ごしましょう。

それでは、今年度最後を、「空も飛べるはず」を歌って締めくくりたいと思います。

空も飛べるはず

作詞・作曲 草野正宗

幼い微熱（びねつ）を 下げられないまま 神様の影を恐れて
隠したナイフが 似合わない僕を おどけた歌でなくさめた
色あせながら ひび割れながら 輝くすべを求めて
君と出会った奇跡が この胸にあふれてる きっと今は 自由に空も飛べるはず
夢をぬらした涙が 海原（うなばら）へ流れたら ずっとそばで 笑っていてほしい